

2 4月の見通し

野菜

4月は気温の上昇とともに多くの品目で順調な出回りが期待でき、「ばれいしょ類」「たまねぎ」以外は前年並かそれ以上の入荷量となる見込み。

「だいこん」は千葉県産が生育順調で昨年多かった横縞病も少ない。「にんじん」は徳島県産が干ばつの影響により細物傾向が続くが、中旬以降中心へと回復する見込み。「トマト」は現状は小玉が多いが、徐々に玉肥大が進むと見込まれる。「ばれいしょ類」は鹿児島県産は離島物が大玉、本土では小玉と傾向が分かれている。

野菜全体では入荷量は前年並、価格は高かった前年をかなり下回り、前年並となる見込み。

果実

4月は3月同様「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」中心の入荷となるが、「メロン類」や「スイカ類」の存在感が増し、「ぶどう類」や「もも類」もハウス栽培の入荷が始まる。

「いちご類」は端境を抜けるも大きなピークはなくダラダラとした入荷になる見通し。「マンゴー」は宮崎県産では前年のような生育遅れはなく前年並の出回りを見込む。「メロン類」「すいか類」「もも類」「おうとう」も現状大きな問題はなさそう。「びわ」は加温に使う重油の高騰の影響もあり、やや遅れた出方となる。

果実全体では入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	前年比	前年比	前年比	
だいこん	⇒	↓↓↓	↓↓↓	⇒	主産地は千葉県。神奈川県産が減少し、後続の千葉県産・茨城県産が出揃うまで相場はやや強めとなる見込み。千葉県産の生育は順調で、天候の回復とともに収穫量も伸びてくる。予想入荷量は前年並で前年をかなり下回る見込み。
キャベツ類	⇒	↓↓↓	↓↓↓	↓	主産地は神奈川県、愛知県。各産地とも生育順調。中旬に神奈川県産が端境となるが、千葉県産・愛知県産の入荷量はそこまで多くないため、引き合いが強まる見通し。予想入荷量は前年並で、前年をかなり下回る見込み。
ねぎ	↗↗	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は千葉県、茨城県。低温乾燥で遅れていた春ねぎの回復が進み、潤沢な入荷となる。下旬から初夏ねぎの出荷開始と秋冬ねぎの減少により単価は上がる見込み。予想入荷量は前年をかなり上回り、前年並の見込み。
きゅうり	⇒	↓↓↓	⇒	⇒	主産地は群馬県、埼玉県。西南暖地産は植替え作中心となり下旬にかけ全体量が徐々に増加していく見込み。予想入荷量は前年並で、前年をかなり下回る見込み。
トマト	⇒	↓	⇒	↗	主産地は熊本県、栃木県。後半にかけ玉流れの回復と無加温産地の入荷により入荷量増加の見込み。愛知県産も植替え作が始まるので数量が伸びそうだが、主産地の作付減少により、予想入荷量は前年並、前年をやや下回る見込み。
びわ	⇒	↓↓↓	↗↗	↑↑	主産地は長崎県。九州産地、千葉県とも10日程度遅れ傾向。鹿児島県等、加温産地では重油高騰の影響で遅れている。長崎県のハウス物のピークは4月中下旬を見込む。入荷量は少なかった前年並で前年を大幅に下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	前年並: ±2%	↗↗, ↓↓↓	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↓	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上